

韓国ナムドン発電(株) 霊興火力本部

会社紹介



韓国ナムドン発電(株) 霊興火力本部は、電力産業の構造改編により、韓国電力公社から 2001 年に発電子会社に分割された。霊興火力は国内電力消費量の 32% を占める首都圏に、低廉な発電原価による安定した電力供給を実現するため、仁川壅津郡霊興面で、施設容量 800MW × 2 基が稼動している。3・4 号基(800MW × 2 基)は、2009 年 3 月の竣工を目標に建設中であり、火力発電所としては国内最大級を誇り、最尖端の環境汚染防止施設を備えた環境に優しい発電所である。

会社紹介

企業理念：人間尊重 / 自然愛護 / 社会貢献

ビジョン：Global Power Leader

経営目標：低廉で質のよい電力の安定供給/
企業価値の極大化

2001.04.02 韓国ナムドン発電(株) 創立

霊興火力本部の沿革

- '95.01.21 霊興火力建設事務所発足
 - '95.07.08 霊興火力電源開発事業実施計画の認可
 - '99.03.14 仁川広域市と環境協定締結
 - '99.09.01 霊興火力 1・2 号基建設工事着工 (800MW × 2)
 - '04.05.15 霊興火力 3・4 号基着工(800MW × 2)
 - '04.12.23 霊興火力 1・2 号基竣工
 - '09.03. 霊興火力 3・4 号基竣工予定
- 国際標準規格認証取得企業
- '04.04.20 品質経営システム(ISO-9001) 認証
 - '04.11.04 環境経営システム(ISO-14001) 認証
 - '05.12.29 安全保健経営システム (OHSAS18001) 認証

本部長 ファンヒョンギョ (Hwang Hyun Kyu)
住所 仁川広域市壅津郡霊興面外里山 168
設立 1995 年 01 月 21 日
Tel/Fax 032-455-3261 / 032-455-3268
Homepage www.kosep.co.kr

主な事業分野

- ・電力(電気)生産及び電力資源の開発
- ・発電所(火力、揚水、LNG 複合) 及び付帯設備の建設

事業効果

- ・首都圏電力需給の不均衡解消及び安定した電力供給
 - 首都圏電力使用量の 6.7% を供給 (3・4 号基竣工時 13.4%)
 - 電力消費の中心地である首都圏に位置、送電損失の最小化
 - 最新の大容量設備と低廉な発電源、国際競争力向上に貢献
- ・最先端の発電設備及び環境設備の導入
 - 国内最初の大容量 800MW 超臨界圧発電設備建設
 - 先端高効率の環境設備及び国内で初めて排煙脱室設備を構築
 - 環境投資額は工事費の 20% (4,600 億ウォン)
- ・再生エネルギーの開発及び総合エネルギーパークの建設運営
 - 1 千 kw 級の太陽光発電所建設('06.11 竣工)
 - 3 千 kw 級の小水力発電所建設('07.06 竣工)
 - 総合エネルギーパーク(広報館)建設 ('07.09 竣工)
- ・地方税収の増大及び地域社会の発展に貢献
 - 3・4 号基の建設人力：延べ人員 147 万人雇用 (1・2 号基：年間 127 万人)
 - 発電所周辺地域支援事業と特別支援事業を実施
 - 連陸橋の建設及び道路拡張と舗装による生活環境の改善

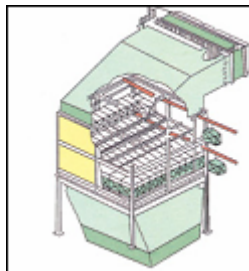
主な環境汚染防止施設



[電気集塵機]



[脱硫設備]



[脱室設備]



[炭塵飛散防止設備]

株式会社 ERG サービス

1、会社紹介

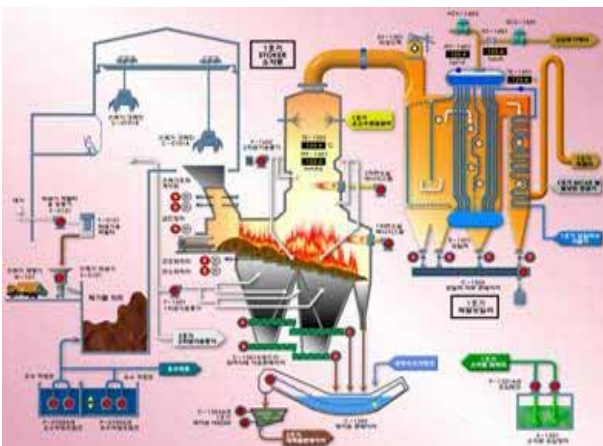
商号	株式会社 ERG サービス
代表理事	ユン ビョンソン
住所	仁川広域市南洞区南村洞 622 - 10 (南洞工団 12B - 11L)
電話番号	(TEL) 032 - 822 - 2961 ~ 4 (FAX) 032 - 822 - 2965
敷地面積	(敷地) 8,295 m ²
施設規模	(1号基) STOKER 焼却施設 (48 トン/日 × 1 基) (2号基) KILN + STOKER 合併式焼却施設 (48 トン/日 × 1 基)
工事期間	2004 年 9 月 ~ 2005 年 9 月
施工会社	コーロン建設(株)、コーロン環境サービス株
事業種目	廃棄物収集・運搬業及び廃棄物中間処理業(焼却専門) 環境プラント生産及び販売運営管理設置業 集団エネルギー事業法による地域冷暖房事業 エネルギー販売事業

2、施設概要

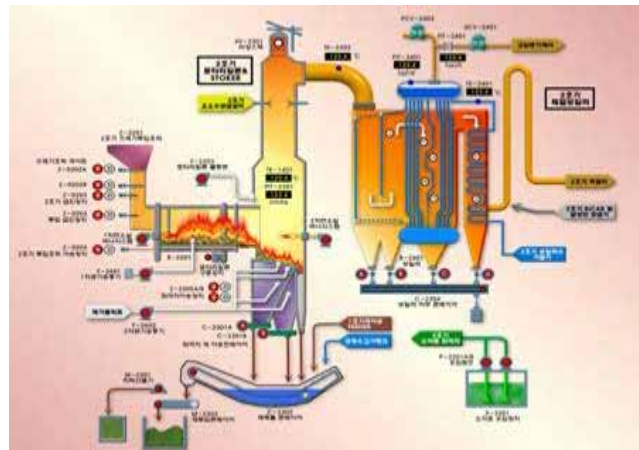
1) 焼却施設及び防止施設

焼却方式：ストーカー式(STOKER) 及びストーカー(R/K+S)合併式
48 トン/日 × 2 基(計 96 トン/日)

STOKER TYPE



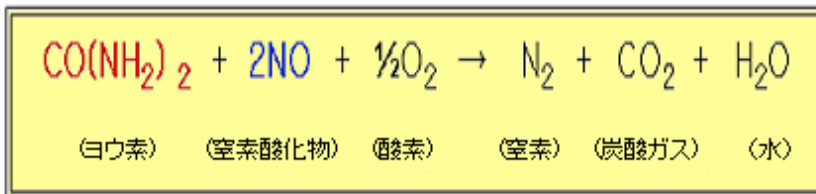
R/K+STOKER 合併式



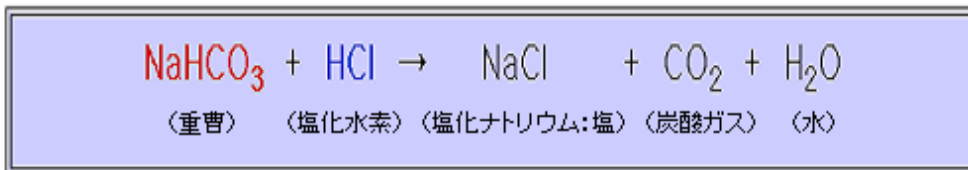
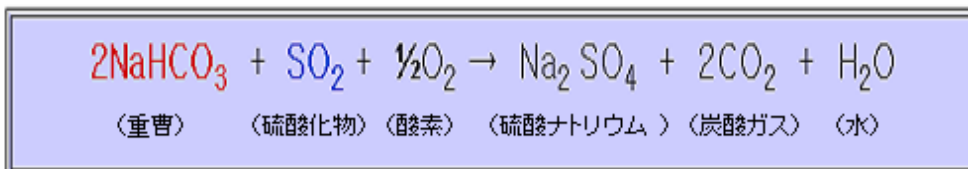
- 廃熱ボイラー : 17 トン/時間 × 2 基 廃熱回収 水管式(輻射+対流)
- 排気ガス処理方式 : 無触媒脱窒素法(SNCR)+ 乾式処理設備
(BICAR + 活性炭) + 濾過集塵施設(B.F)
- 付帯設備 : 破碎機(200HP × 1 基)、オーバーヘッドクレーン(2 期)
- 焼却対象物質 : 事業所一般廃棄物

2) 汚染物質反応及び除去現況

○SNCR設備による反応(非触媒還元法による窒素酸化物の反応)



○BICAR(重曹)による酸ガス反応



○活性炭投入設備

吸着によるダイオキシン及び重金属の除去

3、スチーム活用計画及び燃料代替効果

1) スチーム発生量

焼却炉稼動時のスチーム発生量

焼却施設 (48 トン × 2 基)
発生スチーム = 25 トン/時間

総生産量 = 25 トン/時間



発生スチームの活用計画

自社内使用量 = 5 トン/時間
(株)ドクソン他の使用量 = 20 トン/時間

総使用量 = 25 トン/時間



スチーム発生量は 25 トン/時間 ~ 35 トン/時間で、運営方法によって発生量が異なる

2) 燃料代替効果

燃 料
代 替
効 果

計算の根拠

スチーム生産量 : 25 トン/時間
スチーム源単位 : 76.4 ㏩ - BC 油/トン - スチーム
稼働時間 : 24 時間/日、300 日/年

計 算

$25 \text{ トン/時間} \times 76.4 \text{ ㏩/トン - スチーム} \times 24 \text{ 時間}$
 $\times 300 \text{ 日/年}$
 $= 13,752,000 \text{ ㏩/年 (68,760 ドラム)}$

算出結果

年 間
節 減 額

$13,752,000 \text{ ㏩/年} \times 493 \text{ ウォン/㏩}$
約 68 億ウォン



ドリム鑄鉄管工業（株）

会社紹介



ドリム鑄鉄管工業（株）は1975年4月21日設立された会社で、1979年に品質管理を取り入れ、1981年には韓国産業規格を取得しました。

30余年間、ひたすら水道用鑄鉄管生産に邁進し、現在では国内で業界2位の実績を持つようになりました。当社で生

産される鑄鉄管は引張強度や延伸率が高く、内・外圧に強く、内面にセメントモルタルライニングを施しており、腐食防止はもちろん防錆効果にも優れています。特に、流速係数が高く、海水の浸食に対する耐食性に優れ、世界的で認められた上水道用の管です。

現在、80～1000mm規格でKSを取得し、生産しており、環境に優しい製品生産及び環境管理分野での努力が認められ、1999年の「環境の日」環境部長官賞を受賞しました。2004年には自律管理協約を締結して環境管理に万全を期すと共に、環境保全活動が即ち企業の生命との全社的な認識の下、きれいな環境づくりに最善の努力をつくしています。

1. 環境部長官賞受賞(1999年)
2. 韓国化学試験研究院品質保証業社指定(2000年)
3. ベンチャー企業認証(2001年)
4. 仁川市模範企業表彰(2001年)
5. 財政経済部長官賞受賞(2001年)
6. 労働部長官賞受賞(2003年)
7. ISO9001認証(2003年)
8. 環境自律管理協約締結(2004年)
8. 仁川広域市品質優秀製品指定(2004年)

代表者 パクケンヒョン (Park Keun Hyung)

住所 仁川広域市西区景西洞 363-165

設立 1975年04月21日

Tel/Fax 032-561-7111 / 032-561-7116

E-mail gaap@dorimpipe.co.kr

Homepage www.dorimpipe.co.kr

主要生産品目

1. タイル鑄鉄管
2. 上下水道、電気通信用マンホール

製品の特徴

1. タイル鑄鉄管

引張り強度及び延伸率が高く、内・外圧に十分耐える強度の高い製品であり、セメントモルタルを施して腐食防止や防食防錆性にも優れる。流速係数が高く、海水の浸食に対する耐食性に優れ、清水を安全に供給できる世界的に認められた製品である。

2. 上下水道、電気通信用マンホール

マンホール製品は道路や人道に設置され、円形及び角形のものが多い。特に道路用は過重な重量に対して強固であり、設置や維持補修が容易である。

1. タイル鑄鉄管



2. 上下水道、電気通信用マンホール



(株)サムヤン ゼネックス

会社紹介



サムヤンゼネックスは皆様の日常生活の一部を共にする企業で、私どもの生産する製品は、澱粉糖や各種機能性食品素材を含む医薬用の葡萄糖、工業用の変性澱粉等で、食品・製紙・繊維・化粧品業界など産業全般にわたって多様に使われております。また、醗酵分野で蓄積した技術を土台にして天然抗癌剤の

「ゼネックス(パクリタックス)」を世界で最初に大量生産するなど、生命工学分野でトップの生命工学専門企業になるため努力しております。また、環境に優しい企業文化をつくりあげてきた三養ゼネックスは、1998年、業界で最初に ISO9001 と 14001 認証を同時に獲得して環境経営体制の構築を図り、持続的な環境改善を通じてより豊かな未来を開いて行くため努力しています。

会社紹介

企業理念：生活を豊かで便利にする企業

ビジョン：Globalized Intergrated Food Company

(株)サムヤンゼネックスの沿革

- ‘ 64.04 済州事業場竣工
- ‘ 76.01 仁川事業場竣工
- ‘ 82.01 研究所設立
- ‘ 88.11 蔚山事業場竣工
- ‘ 97.08 大田(ゼネックス)事業場竣工
- ‘ 98.08 ISO14001, 9002 認証を獲得
- ‘ 02.01 蔚山, 大田 BGMP 認証を獲得
- ‘ 05.11 中国秦皇島にゼネックス食品有限公社設立

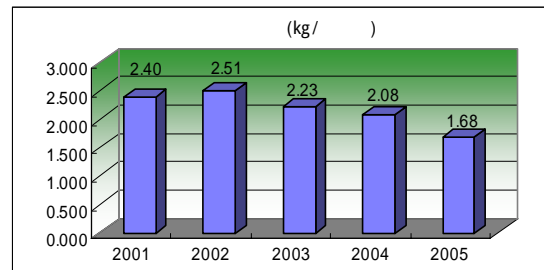
代表者 朴 リャン (Kim Ryang)
 住所 仁川広域市佳佐洞 285
 設立 1964年04月03日
 Tel/Fax 032-570-8001 / 032-570-8299
 Homepage www.benex.co.kr

生産商品

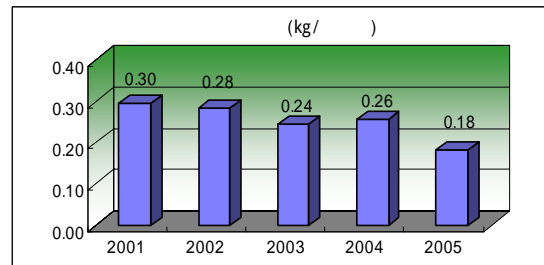
- ・澱粉、変性澱粉
- ・澱粉糖(オリゴ糖、糖アルコール)
- ・抗がん剤(ゼネックス)

環境成果

- ・大気汚染物質発生量の削減(煤塵、SOX、NOX)



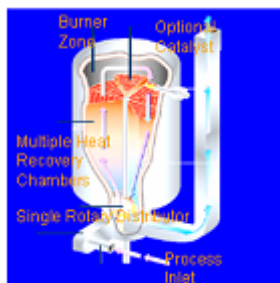
- ・水質汚染物質発生量の削減(COD、SS)



主な環境汚染防止施設



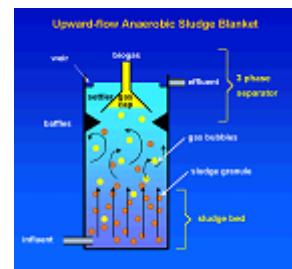
[電気集塵機]



[悪臭防止施設:RTD]



[好気性設備]



[嫌気性設備:AF]

ドンファ企業（株）

会社紹介



1948年に設立されたドンファ企業(株)は、2003年10月、ドングファ・ホールディングスを親会社とする持株会社体制で新たに出帆した親環境経営を目指す国内最高の木質資材の専門企業です。

生産製品としては、使えなくなった木材をリサイクルして作ったパーティクルボード(PB)や重密度繊維板(MDF)があり、人体に無害な環境に優しい床材を生産するなど、木材業界のリーダーとして役目を担っております。

効率の高い環境設備の設置等、持続的な環境投資を行ない、廃木材リサイクル製品について優秀リサイクル製品の認証取得や、最近では環境マークを取得して親環境経営の先頭に立っています。

- 1.国内最初のパーティクルボード工場竣工(1960年)
- 2.インドネシアでコンドグループ立ち上げ(1976)
- 3.国内最初の重密度繊維板工場竣工(1986年)
- 4.国内最初の強化床材工場竣工(1996年)
- 5.PB製品・優秀リサイクル製品(GR)の品質認証(2000年)
- 6.強化床材の親環境建築資材認証(最優秀等級)(2004年)
- 7.PB、MDF、MFBの環境マーク認証(2006年)

代表者 シギョクソブ(Minn Kyung Sob)
住所 仁川広域市西区佳佐洞 150-14
設立 1948年04月02日
Tel/Fax 032-580-5164 / 032-577-0056
E-mail webmaster@dongwha.co.kr
Homepage www.greendonwha.co.kr

主要品目

- ・PB (Particle Board)
- ・MDF(Medium Density Fiberboard)
- ・強化床材、合板床材

製品の特徴

- ・PB(Particle Board)
建築撤去現場から出る再生木材を粉碎して圧着した製品
(優秀リサイクル製品認証、環境表示認証)
- ・MDF(Medium Density Fiberboard)
木材チップから抽出した繊維質を圧着した製品
(環境表示認証)
- ・強化床材 (Laminate Flooring)
表面に Laminating コーティング処理とともにバイオセラミックス処理を施した実用的な床材

環境設備の現況

- 1.遠心力集塵施設、濾過集塵施設、吸着による施設、電気集塵施設など
- 2.SNCR など、窒素酸化物低減設備を保有



[廃木材を原材料として活用]



[原材料投入工程]



[PB 工場の環境設備]



[MDF 工場の環境設備]